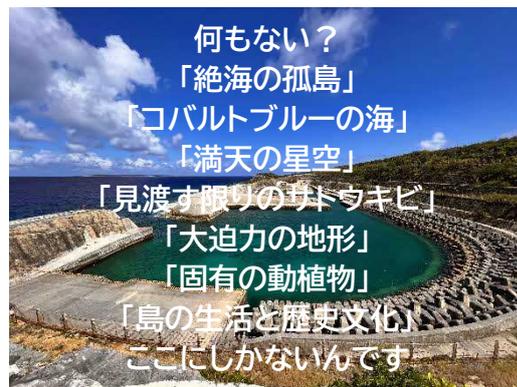
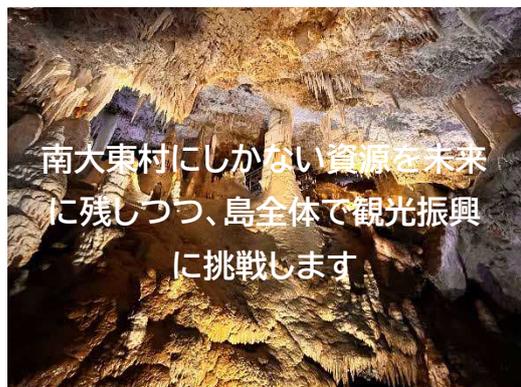


おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024

南大東村観光振興計画



令和6年8月



南大東村

目次

第1章 観光ビジョン 2024 の考え方.....	1
1. おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 の背景と目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 計画期間.....	1
第2章 関連計画・関連施策の整理.....	2
1. 新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画).....	2
2. 第6次沖縄県観光振興基本計画.....	4
3. 第5次南大東村総合計画(令和5年3月).....	5
4. 第2期南大東村人口ビジョン・総合戦略(令和5年3月).....	7
5. 南北大東島連携おじゃりやれプロジェクト及び協力体制.....	10
6. 島まるごとミュージアム構想.....	10
7. 令和6年度 施政方針(令和6年3月).....	10
第3章 現行の観光振興計画の達成状況.....	12
1. 基本理念.....	12
2. 将来像.....	12
3. 現行計画の取組み状況.....	13
第4章 南大東村の観光資源.....	14
1. 南大東村の概要.....	14
2. 南大東村の観光資源.....	14
第5章 統計情報.....	29
1. 人口推移と推計人口.....	29
2. 入域観光客数の推移.....	29
3. 航空輸送実績.....	30
4. 島内の移動手段.....	30
5. 種別宿泊施設等.....	31
6. ツアー客の村内での支出について.....	31
第6章 南大東村観光の現状と課題.....	32
1. 地域資源に関する現状と課題.....	32
2. 受入環境に関する現状と課題.....	35
3. 商品・サービスに関する現状と課題.....	37
4. 人材育成に関する現状と課題.....	38
5. 情報発信に関する現状と課題.....	39
6. 観光振興の推進体制に関する現状と課題.....	40
第7章 南大東村観光振興のビジョン.....	41
1. 南大東村観光振興の10年間の目標.....	41
2. 施策の展開.....	43
3. 具体的な取組.....	44

第1章 観光ビジョン 2024 の考え方

1. おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 の背景と目的

古来南大東島は、琉球人の間でウファガリ島として知られ、1885(明治 18)年、沖縄県庁の探検により日本国標が建てられ、沖縄県に属しました。

1899(明治 32)年に、玉置半右衛門氏が本島開拓の許可を受け、郷里八丈島において同志を募り、60日余の難航海を経て現在の西港に上陸、開拓に着手したのが本島開拓の始まりです。

開拓以来 40 年余玉置商会、東洋製糖会社、大日本製糖会社(日糖興業)の経営する島で日本国中にも類例のない社会制度が続けられていましたが、1946(昭和21)年6月12日歴史的な村制が施行され、南大東村が誕生しました。

そこから、現在に至るまで、サトウキビを中心とする農業を基幹産業として島の風景や歴史文化が育まれてきました。

しかし、南大東村の人口は減少傾向が続いており、過疎化対策としての若者層を中心とする定住促進対策に加えて、観光客などの「交流人口」の増加、新たな「仕事の創出」が地域活性化に必要になっています。

南大東村においてはこれまでの主力産業であるさとうきび関連産業に加えて、観光産業の振興を図ることによって島の課題解決に取り組むことが必要になっています。

2. 計画の位置づけ

おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 は、「第 5 次南大東村総合計画(計画期間:2023 年～2032 年)」を上位計画とし、観光の面から南大東村の地域振興を進めるための計画として位置づけます。

さらに、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)」や「第 6 次沖縄県観光振興基本計画」、本村の「島まるごとミュージアム構想」をはじめ、関連する各分野の既存計画との整合を図りながら、観光振興のための具体的な取り組みを進めるための計画とします。

3. 計画期間

おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024 南大東村観光振興計画の計画期間は、2025(令和 7)年度から 2034(令和 16)年度の 10 年間とします。

第2章 関連計画・関連施策の整理

1. 新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)

(1) 施策展開の基本的方針

「安全・安心で幸福が実現できる島」の形成

(2) 施策展開の基本方向

- ・平和で生き生きと暮らせる「誰一人取り残すことのない優しい社会」の形成
- ・世界とつながり、時代を切り開く「強くしなやかな自立型経済」の構築
- ・人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

(3) 基本施策

将来像 1: 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

将来像 2: 心豊かで、安心・安全に暮らせる島

将来像 3: 希望と活力にあふれる豊かな島

将来像 4: 世界に開かれた交流と共生の島

将来像 5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

(4) 南部離島における展開

- ・離島における定住条件の整備及び地域活性化

本圏域の離島においては、多様な魅力を有する自然環境、伝統文化等の地域資源を保全・活用するとともに、廃棄物等による環境負荷に対して脆弱なことから効果的な廃棄物処理等を推進します。

慶良間諸島におけるダイビングやホエールウォッチングに代表されるエコツーリズム、久米島の海洋深層水を活用した保養・療養型観光など、特有の自然・景観、伝統・文化等の魅力を生かした交流人口及び関係人口の拡大並びに農林水産業等の地場産業との連携による地域活性化に向けた取組を積極的に推進し、**離島ならではの体験・滞在型観光を促進**します。

農林水産業については、農水産物を活用した特産品の開発、ブランド化、**観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大**など、離島ごとの環境・特性を生かした振興を図ります。また、離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組を推進するとともに、農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援、黒糖ブランドの確立、販路開拓等による需要拡大を図ります。さらに、干ばつ被害や台風等の気象災害から農作物被害を防ぐため、農業用水源や防風林等の生産基盤の整備を推進します。

生活環境の整備に向けては、離島の地域特性に応じ、定住化に向けた魅力ある居住環境の形成を促進し、公営住宅の整備等を推進します。また、水道水の安定供給を図るため、地域の実情に応じた水道広域化を推進し、水道事業の運営基盤を強化するとともに、水道施設の計画的な整備、更新及び耐震化に取り組みます。さらに、本圏域の離島における汚水処理施設については、人口動態等の地域の実情に応じた整備に取り組みます。

都市部と同等の情報通信環境の確保に向けては、情報通信基盤の高度化及び ICT の利活用を促進するとともに、遠隔教育や遠隔診療など ICT や新技術を活用することにより、教育、医療、福祉の生活環境基盤の充実など定住条件の整備に取り組みます。また、島しょ地域の魅力を生かしたワーケーションや移住定住住宅・コワーキングスペース等としての空き家の利活用を促進します。さらに、空港、港湾、漁港、道路等の整備を推進し、定住条件の整備に取り組み、交流人口及び関係人口の拡大による地域の活性化を促進します。あわせて、航空路線及び海上航路を確保・維持するとともに、交通・生活コストの低減を図ります。

高等学校等が設置されていない離島の生徒については、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担の軽減等を図ります。また、児童生徒における本島や県外との交流を促進するとともに、市町村との連携による環境整備の促進など、離島留学を推進します。

2. 第6次沖縄県観光振興基本計画

(1) 沖縄観光の目指す将来像

「世界から選ばれる持続可能な観光地」
-世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」-

(2) MISSION(使命・役割)

- ① 平和で生き生きと暮らせる県民、観光事業者、観光客の全てが幸せな三方よしの社会
- ② 世界とつながり、時代を切り拓く「強くしなやかな自立型経済の構築」
- ③ 人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

(3) 将来像達成のイメージ／GOALS

「世界から選ばれる」とは、世界の人々に認知され、国内有数の広大な海域から構成される海洋島しょ圏として、温暖な亜熱帯海洋性気候のもと、世界自然遺産に登録された「沖縄島北部及び西表島」などの豊かな自然環境や、首里城を始めとする「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界文化遺産、琉球料理、泡盛、空手、組踊など独自の歴史文化を生かして、沖縄でしか味わうことのできないリアルな体験が国内外の旅行者から選ばれる状態を指す。

「持続可能な」とは、**多くの固有種や希少種が生息・生育する生物多様性に富んだ豊かな自然環境や地域住民の生活環境への影響を可能な限り軽減しながら、観光業に従事する人々が質の高い安定した暮らしを継続するとともに、地域社会の発展に資する自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐ担い手が育成される環境が整った状態を指す。**

3. 第5次南大東村総合計画(令和5年3月)

(1)むらづくりの基本構想

①基本理念

「進取」「調和」「琢磨」

- ◆進取 ～開拓者精神が活きるむらづくり～
- ◆調和 ～自然とともに歩むむらづくり～
- ◆琢磨 ～人と文化を育むむらづくり～

②南大東村の将来像

第5次南大東村総合計画で目指す将来像は、

人と自然が未来を拓く フロンティアアイランド
～笑顔あふれる ウファガリ島～

③むらづくりの目標

- 目標1 みんなで学び合い、人も地域も輝く島【教育・文化分野】
- 目標2 誰もが健やかに生き生きと暮らせる島【保健・福祉・防災・消防救急分野】
- 目標3 自然の恵みを資源に、にぎわいと活力のある島【産業分野】
- 目標4 自然と調和した快適な暮らしが持続する島【交通・生活基盤・環境衛生・情報通信】

④基本計画(第3節 商工業・観光業の振興)

◆施策の基本方向

- ・事業所等への経営支援に努める
- ・地域の農産物・水産物を活用した特産品の開発及び販路拡大の促進
- ・「島まるごとミュージアム」構想の推進
- ・観光客数1万人を目指した取り組みを進める

◆これまでの取り組み

- ・県内外のイベント等における観光資源のPR
- ・シュガートレインのサイン類の設置など、景観に考慮した案内サインの設置
- ・観光振興協議会等と連携した各種体験メニューの開発

- ・「島あっちい事業(県事業)」などを活用した新たな観光メニューの開発
- ・観光人材の育成・充実
- ・「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興計画の策定
- ・沖縄県の離島フェアや本土大都市における観光 PR
- ・民間事業所と連携したツアー企画

◆課題

- ・観光資源の維持管理の実施
- ・観光体験メニューの開発促進、観光ガイドの育成
- ・観光推進協議会の体制強化
- ・誘致イベントの充実

◆具体的な取組み

- ・「島まるごとミュージアム」構想の推進
 - 観光資源として文化財や伝統文化、島の自然や歴史を伝える「南大東村ビジターセンター(島まるごと館)」「南大東村立ふるさと文化センター」と連携したエコツーリズムを導入し、島外への「遺産」の情報発信を行います。
 - 環境や景観と調和した観光資源、観光案内版の補修・改善に努めます。
 - 観光推進協議会等と連携を図りながら、各種体験メニューの内容充実、新たな観光メニューの開発を進めるとともに、受け入れ農家、漁家の育成・確保に取り組みます。
 - 村や関係機関のホームページ等を活用し、新たに整備された星野洞などの観光資源の PR に努めるとともに、観光ガイドの育成を促進していきます。
- ・観光客 1 万人誘致にむけた取組みの強化
 - 観光業の振興を担う観光推進協議会の体制強化に向けて支援します。
 - 離島フェア等、各種イベントへの参加者や観光客誘致イベントの開催等に取り組むとともに、民間事業所と連携した観光メニューの開発を促進します。
 - 観光の振興にむけ、「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興計画の推進に取り組みます。

◆目標指標

観光業の振興に係る目標指標は、次のようになっています。

目標指標	現状値(R4 年度)	目標値(R9 年度)
観光客の増加	4,000 人	5,000 人

4. 第2期南大東村人口ビジョン・総合戦略(令和5年3月)

(1)南大東総合戦略の目指す社会・目標

〈キャッチフレーズ〉

夢と志を持ち、力を合わせて未来を拓くフロンティアアイランド
～雄大な自然と人の温かみを感じることのできる希望の島～

(2)基本目標

基本目標 1:地域の強み・特色を活かした「稼ぐ産業」の開拓

1-①農業の推進による地場産業の振興

1-②海に囲まれた本村の特性を生かした漁業の振興

1-③活気ある観光業・商工業の振興

1-③活気ある観光業・商工業の振興

観光振興に向け、本村の豊かな自然といった観光資源の情報発信を充実していくとともに、観光協会や沖縄県等との連携のもと、新たな体験メニューや魅力あるコンテンツづくりといった観光資源の開発、受け入れ態勢の強化等を図り、滞在型観光の推進を図ります。

また、農水産物などを活かした地場産品の開発や販路拡大を図るとともに、小売店舗の育成や企業支援等を図り、地域経済の活性化をめざします。

(3)具体的な施策

●交流人口の増加に繋がる滞在型観光の推進

本村は絶景を誇る星野洞や大地のオヒルギ群落など恵まれた自然環境を有しているとともに、ダイナミックな景観資源や文化財、伝統文化等、多様な魅力に溢れた島となっていることから、「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光振興を図り、その活用を促進していきます。

また、シュガートレインの活用に向けた取組みや魅力あるコンテンツづくり、新たな観光ルートの開発等を図り、交流人口の増大等に繋がる滞在型観光の推進を図ります。

〈主な取組み〉

・シュガートレインの活用に向けた取組みの推進

・ふるさと納税制度やクラウドファンディングの活用等も含めたシュガートレインの活

用支援金造成の検討

- ・「島まるごとミュージアム」構想を踏まえた観光の振興
- ・観光振興基本計画の見直し
- ・離島観光・交流促進事業「島あっちい」によるブランディングの充実
- ・新たな観光ルートの開発(15の春を題材とした映画ロケ地を巡る観光ルート等)
- ・観光に資する航空運賃補助の検討
- ・さとうきびの機械化農業の視察ツアー(1月～3月)

<重要業績評価指標>

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (令和4年度実績値)	令和9年度 目標値
観光客数の増加	4,000人	5,000人

(4)観光振興に関わる他分野の施策具体的な施策

※観光振興に関係のあると思われる具体的な施策を、基本目標の分野ごとに掲載します。

1-①農業の推進による地場産業の振興

◆農業の可能性拡大

- ・特産品開発の推進及び島外の販路拡大
- ・ハッピーグリーンマーケットでの地場製品のPRの充実

1-②海に囲まれた本村の特性を生かした漁業の振興

◆漁業の振興に向けた環境づくり・事業展開の推進

- ・水産物の安定供給に向けた漁業観光整備(漁港施設の整備促進、漁礁の維持管理等)
- ・遊漁船ツアー等の充実

1-③活気ある観光業・商工業の振興

◆商工業の振興

- ・特産品開発に対する支援とPRの拡充
- ・ハッピーグリーンマーケットでの地場製品のPRの充実
- ・ふるさと納税制度を活用した特産品等の販路拡大
- ・中小企業への支援強化
- ・企業・創業に対する支援

2-①移住・定住に向けた取組みの推進

◆移住に向けた情報発信・体験居住の推進

- ・離島観光・交流促進事業「島あっちい」によるブランディングの充実

- ・体験居住の仕組みの検討(ふるさと納税制度の返礼品としての島での体験居住等)
- ◆移住・定住のための住宅等の整備
 - ・空き家利活用方策の検討実施
 - ・ワーケーションの促進に資する環境整備(光ファイバー網による超高速ブロードバンド基盤の整備・充実等)

5. 南北大東島連携おじやりやれプロジェクト及び協力体制

本プロジェクトは、南北大東諸島での中小企業支援による地域活性化と地域ブランド構築に取り組みます。両島の特異な地域資源を、地域連携することにより相乗効果を生み出す付加価値の高い商品、サービスを開発できるように、共通課題について共に解決し、双方の地域中小企業者の参画を図り、地域経済の活性化に結実することを目的に令和4年度～令和6年度に事業を展開してきました。

今後は県内外のイベント等について協力体制を推進していきます。



※おじやりやれ・・・八丈島由来の言葉で「いらっしゃい」の意味

6. 島まるごとミュージアム構想

◆概要

- ・平成12年に開拓100周年を迎えたことをきっかけに、島全体の特異な自然や歴史、文化、産業等の「宝」を収蔵するミュージアムとして考えて、地域資源の再発見による活性化を目指した。
- ・拠点施設「島まるごと館」での住民同士の情報交換、南大東島のシンボルであるダイトウオオコウモリの増殖保護のためのピロウ等の植栽、地域資源の情報収集と学習への活用による人材育成等を実施。
- ・これまで当たり前感じていた島特有の地域資源を見直す村民が増え、子供達が島のすばらしさに興味を示し始めた。又、エコツーリズム推進協議会結成など、活動の広がりが見えた。

7. 令和6年度 施政方針(令和6年3月)

◆自然の恵みを資源に、にぎわいと活力のある島(産業について)

基幹作物さとうきびや豊かな海・自然・文化資源といった本村ならではの地域資源を活かし、環境にも配慮しながら、さらなる産業の活性化を図り、にぎわいと活力が満ちあふれる村づくりを目指します。農業や水産業をはじめ、商工業、観光等による事業展開を図り産業振興を進めます。また、加工品等の販路や市場の拡大、担い手の確保に努めるとともに、島外への物流コストの低減を図り、観光資源を活用した交流人口の拡大を目指します。

商工業・観光業の推進については、事業者の適切な経営アドバイスや各種融資制度の周知等の事業による村商工会への支援を継続します。農漁村生活研究会や民間企業と連携を図りながら、加工品開発を促進し、販路拡大を進めます。「TERIHAオイル」を島の特産品として積極的にPRを行い、地域特産品として推進を図ります。島まるごとミュージアム構想を推進するため、観光資源として文化財や伝統文化、島の歴史を伝えるシュガートレイン等の活用を再検討し、環境や景観と調和した観光資源を活用したPRに務め、村観光推進協議会と連携を図りながら、観光客1万人誘致に向けた観光振興計画の推進に取り組みます。

第3章 現行の観光振興計画の達成状況

現行の南大東村観光振興計画である「おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2015」は、平成 27 年 3 月に策定され、計画期間を平成 27(2015)年から令和 6(2024)年の 10 力年として計画の推進を図ってきました。

計画の概要と取り組み状況は以下のようになっています。

1. 基本理念

理念1:南大東村の持続的な発展の為には、主力産業である農業に加えて観光振興による交流人口の増加が重要であるとの認識を持ちます。

理念2:先人たちの開拓者精神に学び、南大東島の貴重な自然の保全・活用を図るとともに、独特な伝統文化の継承・発展に取り組み、来島者に感動を与え、何度でも訪れたいくなるような南大東島になることを目指します。

理念3:行政、市民、観光関係者、農業・漁業関係者など南大東村の発展を願う方々が気持ちを一つにして計画の実現に取り組みます。

2. 将来像

心が動く 島が動く 人と自然のふれあい天国 うふあがり島

3. 現行計画の取組み状況

現行の南大東村観光振興計画に定めている基本戦略を実現するための施策を以下のように定めており、その取組み状況を確認します。

基本戦略	基本施策	短期施策	取組み状況
【基本戦略1】 南大東村の特性(価値)を活かし、訪問者に感動を与えます	①自然を活かしたエコツーリズム	南大東島エコツーリズム・ガイドラインの策定	未
		自然体験案内ガイド育成	未
	②文化を活かした観光	豊年祭などの祭りについての情報発信強化	村役場のホームページ、観光協会のホームページ。
		食の魅力向上	南大東農魚村生活研究会にて商品開発して村内、県内コンビニに出荷。
	③体験プログラム開発	ダイビングスポット紹介ガイドブック作成	未
		釣り体験プログラム開発	2,000年に実施、継続には至っていない。
		民泊促進	修学旅行を民泊で受け入れ実施
	④クルーズ誘致	誘致活動展開	新型コロナウイルス感染症拡大以前に実施。
⑤気象観測活用	南大東島気象観測ガイド養成	未	
⑥その他イベント開催	南大東村ならではのイベント開催	ボロジノフェア、南大東豊年祭。	
【基本戦略2】 シュガートレインの復活による新たな魅力を創出します	①シュガートレイン運営方針策定	仕組みづくり検討	H27から検討委員会は設置して数回協議したがいまは止まっている。
	②日本最南端の鉄道(駅)としてのアピール	情報発信強化	未
	③村民と観光客の交流機会創出	プログラム開発	未
【基本戦略3】 観光交流の活性化に向けて南大東村全体で力を合わせて取り組めます	①受け入れ体制整備	エコツーリズム推進	未
		島内環境整備	一部案内板設置したがまだ足りない。緑化美化運動も人員不足あり。
		情報通信基盤整備	役場、空港、文化センターで無線ラン設置。
	②観光推進体制強化	観光ビジョン連絡会(仮称)設置	商工会を中心に活動
	③情報発信強化及び南大東島観光大使制度拡充	南大東村の観光と物産フェア開催	商工会を中心に品評会等を10年継続
		情報発信強化及び「新・南大東島観光大使制度」創設	実施(現在2名)
	④観光統計整備	観光客実態調査等実施	未

第4章 南大東村の観光資源

1. 南大東村の概要

南大東村は、沖縄本島の東 360 kmにある大東諸島のうち南大東島を村域とします。島全体が隆起環礁でできており、断崖絶壁に囲まれています。内陸は見渡す限りサトウキビ畑が一面に広がり、島の中央部は湿地帯で大小 50 余りのカルスト湖沼が点在しています。沖縄県最大の湖沼「大池」は、周囲が約 4km あり、北側の湿地帯にマングローブを形成するオヒルギ群落が生息しています。

大陸から隔絶された南大東島には、国指定の天然記念物「ダイトウオオコウモリ」など、固有の動植物が数多く生息しています。また、島の海域は漁場に恵まれ、マグロ、サワラ等の漁獲が豊富です。

2. 南大東村の観光資源

本村の有する観光資源・観光施設等の現況は以下のようになっている。



(1)主な観光名所・文化財・史跡等

名称等	写真
<p>星野洞</p> <p>星野洞は、「ふるさと創生基金」にて観光資源として開発、平成6年1月に落成しました。</p> <p>洞内には多数の石柱・つらら石・石筍などの鍾乳石があり、神秘の世界を披露し地元民はもとより観光客を魅了しています。</p>	
<p>日の丸山展望台</p> <p>昭和55年(1980年)に設置され、展望台上に立つと島内全景を一望することができます。</p> <p>戦時中は電波探知機部隊の陣地で、現在でもその壕跡が残っています。</p>	
<p>ふるさと文化センター</p> <p>主な収蔵品には島内流通紙幣や島で最古の太鼓・機関車等を展示しています。</p>	
<p>海軍棒</p> <p>海辺の岩礁を掘り取った自然のプール。島には砂浜がなく、その為子供達は人工堀込式プールで夏を楽しむ。安全に泳ぎながら熱帯魚やカニを捕まえられるのは、自然のプールならではのです。</p>	
<p>琉球松並木</p> <p>大正6年に東洋製糖株式会社は、島民の生活と生産の向上という面から防風林の必要性を重視するとともに本格的に植林計画を立てて生育に着手し、大正10年～15年にかけてリュウキュウマツ等を主体に、年次計画で植林を実施しました。</p>	

<p>ダイトウビロウ</p> <p>高さ20Mにも及ぶヤシ科の高木で、村木となっています。</p>	
<p>バリバリ岩</p> <p>フィリピン海プレートに乗り、今も移動している南大東島、そのエネルギーが裂け目として表れているのが、「バリバリ岩」です。</p>	
<p>ゴジラ岩</p> <p>日本を代表する特撮映画、「ゴジラ」に見える自然の造形です。</p> <p>見る角度が違うと、ただの岩です。</p> <p>ベストポジションを見つけてください。</p>	
<p>南大東漁港</p> <p>全国的にあまり例を見ない、島の岩盤を掘り込んだ港です。</p>	
<p>上陸記念碑</p> <p>西港の入り口に建てられた記念碑です。</p> <p>現在の記念碑は2代目の碑で1930年に建立されたものです。</p>	

<p>島まるごと館(ビジターセンター) ※休館中</p> <p>「南大東島まるごとミュージアム」は「島まるごと館」を拠点とし、情報を発信する活動の場とし、子供からお年よりまで島のすべての人が集い参加することによって作られる、生きたミュージアムです。</p>	
<p>グレイスラム(ラム酒工場)</p> <p>旧空港の跡地を利用しており、建物には「南大東空港」の文字が残っています。</p> <p>※工場見学は行っていない。</p>	
<p>玉置記念碑</p> <p>無人島だった南大東島の開拓に成功した玉置半右衛門を讃える碑。南大東島役場から徒歩約 15 分。静かな森の中にあります。</p>	
<p>軌道跡</p> <p>日本史上もっとも南に位置する鉄道で、サトウキビ運搬の専用鉄道として敷かれ、島のあちこちに残る線路跡にかつての面影を垣間見ることができます。</p>	
<p>シュガートレイン</p> <p>開拓時代から約 80 年間、サトウキビの島内運搬を担っていました。現役を退いてからは開拓時代のシンボルとして文化センター横に展示されています。</p>	
<p>国標</p> <p>1885 年(明治 18)日本政府国標を立て、沖縄県に所属しました。</p>	

<p>亀池港</p> <p>南大東3港で最ものんびりした港。海が荒れるとゲートが閉じられます。西港が荒れている場合に貨客船の接岸があります。普段は釣り人が多い場所です。</p>	
<p>西港</p> <p>西港は魚影も濃く足場も安定しているので、普段は地元の人達が釣り三昧している場所だが、台風が接近するともうの凄惨な高波がたたきつける場所です。</p>	
<p>夕日の広場</p> <p>島で夕日が一番綺麗に見ることができます。星野洞と西港の間にありますので、星野洞見学のあとにお立ち寄りください。</p>	
<p>ミレニアムパーク</p> <p>ミレニアムパークには東屋の他にトイレなどもあり、また海側の壁の先にはシュガートレインのレール跡もあります。西向き公園なので1年を通して夕日を楽しめる公園です。</p>	
<p>高層気象観測(気球飛揚)見学</p> <p>南大東島地方気象台では1日2回気球による高層気象観測を行っています。</p> <p>朝(08:30)の飛揚を見学することができます。(職員説明なし、予約不要)</p>	

(2) 娯楽施設(ビーチ、キャンプ場、ゴルフ場)

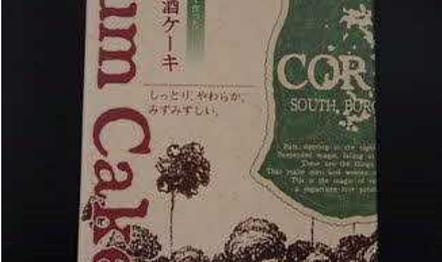
名称等	写真
<p>フロンティアパーク(キャンプ場)</p> <p>開拓 100 周年のメモリアルパークであり、芝はキャンプ場としても利用できます。</p> <p>※1泊 300円</p>	
<p>塩屋プール</p> <p>自然プール。断崖絶壁に囲まれ砂浜のないこの島で海水浴ができるよう海辺の岩を掘って作られました。満潮・高潮時には水没します。</p>	
<p>南大東ゴルフ場</p> <p>南大東島唯一のゴルフ場(ショートコースのみ)です。</p>	

(3)自然資源

名称等	写真
<p>大池のオヒルギ群落</p> <p>南大東のオヒルギは内陸の池のふちに生育し、外洋から隔離された世界的にも珍しい内陸封鎖型のマングローブです。</p>	
<p>南大東東海岸植物群落</p> <p>南大東の東側の海岸付近の岩場と防風林帯には、天然記念物を含む多種の海岸植物の混生した群落が見られます。</p>	
<p>ダイトウオオコオモリ</p> <p>翼手目オオコウモリ科の大東諸島だけに生息する固有亜種で学術上貴重な存在。</p> <p>翼を広げると80cm以上にもなる大型種で、首のまわりの体毛が美しい白色や金色である点が大きな特徴です。</p>	
<p>さとうきび畑</p> <p>大東島の歴史を伝え、島の風景をつくる広大なサトウキビ畑です。</p>	
<p>秋葉地底湖</p> <p>人の手が加わっていない地底に広がる湖です。</p> <p>景色・空気・音すべてが神秘的な空間です。</p>	

(4)特産・名物

名称等	写真
<p>大東寿司</p> <p>醤油ベースの特性タレにサワラ、マグロを漬け込み、甘酢めしで握る。タレは数種類の調味料をブレンドしたもので、各家庭ごとにその味わいには違いがあります。</p>	
<p>大東そば</p> <p>昔ながらの手作りで灰汁(ガジュマルの木)を使って十分に手で練り込んだこしのある麺でとっています。</p>	
<p>大東羊羹</p> <p>南大東では昔から保存に適した「羊羹」がよく食べられていました。その起源は入植者が八丈島からの移民であったことに依ります。種類も多く南大東を代表する特産品です。</p>	
<p>パイアの加工品</p> <p>パイアの加工品には数種類ある。島のパイアを利用した漬け物で、自然なパイアの味を大切にしています。</p>	
<p>あっ！ソーカ</p> <p>ソーカとは月桃(げっとう)と呼ばれるハーブです。</p> <p>独特の風味をもつ月桃を生地に練り込みカラッと揚げたかりんとうです。</p> <p>一口頬張ると後味に爽やかな月桃の風味が漂います。</p>	

<p>いか燻製(スライス・足)</p> <p>南大東島近海で獲れた新鮮なソデイカをチップで美味しくスモークしました。</p>	
<p>大東まんじゅう</p> <p>「大東」の焼き印入りのおまんじゅう。やさしい甘さのかぼちゃ餡入りです。</p>	
<p>COR COR (コルコル)ラム酒</p> <p>南大東産サトウキビから製造したラム酒です。</p> <p>瓶詰めからラベル貼りまで全て手作業のため、限られた本数しか製造できませんが、それゆえ心を込めてお届けいたします。</p>	
<p>沖縄ラム酒ケーキ</p> <p>COR COR を使ったラム酒の香り高いスポンジケーキです。</p>	
<p>マグロジャーキー(甘口・辛口)</p> <p>新鮮なまぐろを素材にした南大東島特産の珍味。南大東島近海で取れるキハダマグロを使い作りました。</p> <p>新鮮なキハダマグロを独自のタレにつけ込み、一晩かけて焼き上げた燻製まぐろジャーキーです。</p>	

<p>シージャーキー(甘口・辛口)</p> <p>マグロを知り尽くした島だからこそ完成した「味」その味の完成には 10 余年の歳月を費やしました。</p> <p>カット面を意図的に粗く加工することで味が「浸みた」こだわりのジャーキーになりました。</p>	
<p>さわらジャーキー(甘口・辛口)</p> <p>南大東島近海で獲れるさわらを使い作りました。新鮮なさわらを独自のたれにつけ込み一晩かけて焼き上げた薫製さわらジャーキーです。</p>	
<p>黒蜜スティック</p> <p>糖蜜の浸みこんだ軽いスナック菓子です。</p>	
<p>月桃ボール</p> <p>月桃粉末を練りこんだ香りのよいお饅頭です。</p>	
<p>大東月桃の工芸品</p> <p>月桃を乾燥させて作る編込み細工の工芸品。</p> <p>バッグや帽子、生活用品等かわいらしくて実用的なものが数多くあります。</p>	
<p>南大東海塩</p> <p>化粧品で有名なノエビア社が海水から作った天然塩です。</p>	

<p>南大東産とうもろこし</p> <p>南大東産のゆでトウモロコシ。甘みが強いのが特徴です。</p>	
<p>TERIHA タマヌオイル</p> <p>自然豊かな南大東島のテリハボクの実から採れた高純度天然オイル「タマヌオイル」。</p> <p>ヨーロッパや南太平洋諸国で人気の全身に使用できるオイルです。</p>	

(5)年中行事

名称等	写真
<p>観音祭 開催期間:毎年 7月 17日 主催者: 開催場所:観音山 家畜の無病息災と繁盛を祈願し毎年7月17日を祭日としています。各字輪番制で仏式による祭事を行います。</p>	
<p>南北親善競技大会 開催時期:毎年 6月 第4土・日曜日 主催者:南大東村体育協会 開催場所:隔年北大東村と交互に開催 南北大東村の親睦を深めるスポーツ大会です。</p>	
<p>旧盆エイサー 開催時期:毎年旧暦7月 13日～15日 主催者:青年会 開催場所:島内 南大東島では旧盆に青年会を中心にエイサーが行われます。旧盆の間は夕方から夜遅くまで村内の各地域を練り歩き、若者たちが島唄と三線の音色にあわせて勇壮な舞いを披露します。</p>	
<p>豊年祭 開催時期:毎年 9月22～9月23日 主催者:南大東村 開催場所:大東神社村民の杜公園 さとうきびの豊作を祈願する祭事。各字で御輿を担ぎ、島中を山車が曳行されます。</p>	

<p>豊年祭奉納相撲</p> <p>開催時期:毎年 9月23日</p> <p>主催者:豊年祭実行委員会</p> <p>開催場所:大東神社</p> <p>豊年祭りの本祭(2日目)に、大東神社にある土俵で奉納相撲大会が行われます。</p>	
<p>金刀比羅祭り</p> <p>開催時期:毎年 10月10日</p> <p>主催者:南大東村</p> <p>開催場所:金毘羅宮</p> <p>航海・港湾荷役・出漁の安全を祈願して行われる。港湾関係者及び漁業従事者を中心とした村内有志による神式の祭事です。</p>	
<p>産業まつりボロジノフェア</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村役場</p> <p>開催場所:南大東村内</p> <p>島の特産品・民芸品等を一堂に集めた販売イベントです。</p>	
<p>ボロジノ角力大会</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村青年連合会</p> <p>開催場所:屋根付き相撲場</p> <p>ボロジノフェアの中で開催。</p>	
<p>納涼祭</p> <p>開催時期:毎年10月中旬</p> <p>主催者:南大東村青年連合会</p> <p>開催場所:南大東村内</p> <p>産業まつりボロジノフェア終了後の夜に行われます。この日は島に年に一度の花火が打ち上げられます。</p>	

秋葉祭

開催時期:毎年 11 月 16 日

主催者:南大東村

開催場所:秋葉神社

火災防難を祈願し毎年11月16日を祭日としています。

各字輪番制で神式による祭事を行います。



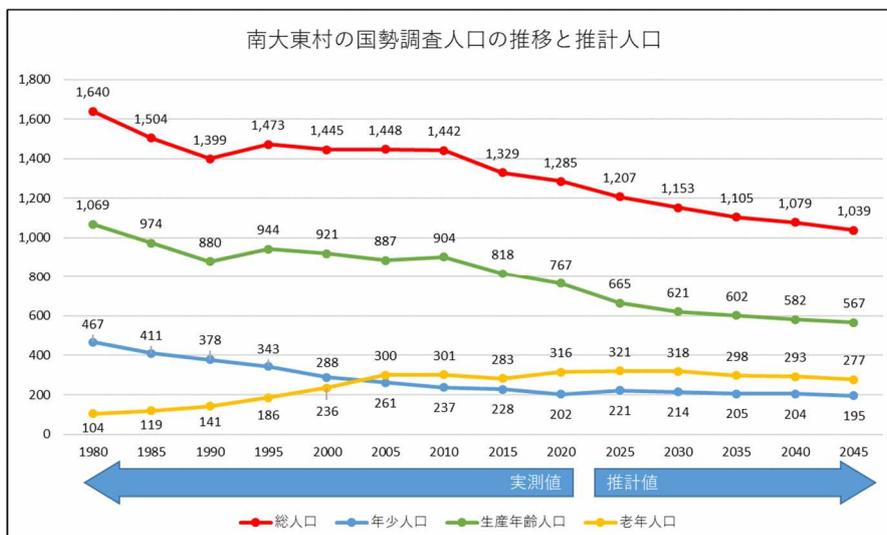
(6)宿泊施設

名称等	外観
<p>ホテル よしざと 住 所 南大東村字在所 253 電 話 09802-2-2511 収容人数 ホテルタイプ 60 名 民宿タイプ 30 名</p>	
<p>コテージ KIRAKU 住 所 南大東村字池之沢 341 電 話 09802-2-2293 収容人数 35 名</p>	
<p>月桃ムーンピーチ 住 所 南大東村字新東 493 電 話 09802-2-2017 収容人数 - ※在所に宿泊施設を増改築中</p>	
<p>プチホテル サザンクロス 住 所 南大東村字在所 94-1 電 話 09802-2-2792 収容人数 14 名</p>	

第5章 統計情報

1. 人口推移と推計人口

南大東村の2020年の総人口は1,285人となっており、近年減少傾向にあります。年齢3区分別人口では、生産年齢人口と年少人口が減少し、老年人口が増加しています。2025年以降の推計人口をみると、生産年齢人口の減少が進むとともに、増加傾向にあった高齢人口も減少に転じます。



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2. 入域観光客数の推移

南大東村の近年の入域観光客数の推移は、2010年度以降増加傾向にあり2019年度には4,955人となり5,000人に迫る状況でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、2020年には2,999人と大幅に減少しました。

単位：人

	(S50)	(S60)	(H7)	(H8)	(H9)	(H10)	(H11)	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)
南大東村	1975	1985	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
	52	-	7,266	9,404	10,394	2,328	3,000	10,350	-	-	-	-	3,777	3,831	2,868
	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
	2,868	2,078	3,998	4,022	4,023	4,336		4,560	4,748	4,917	4,785	4,955	2,999	4,055	



※統計データの無い年があるため、データの欠損がある。

資料：離島関係資料

3. 航空輸送実績

			2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
那覇 - 南大東島 線	運行回数	計	1,081	1,097	1,057	1,078	1,073	1,088	1,092	1,064	1,050	1,068	978	1,007	1,056
		往路	519	525	505	513	511	521	521	510	504	505	468	481	503
		復路	562	572	552	565	562	567	571	554	546	563	510	526	553
	旅客数	計	28,692	27,726	30,058	30,855	32,751	30,964	32,862	33,823	32,967	34,824	26,408	27,864	31,239
		往路	13,833	13,413	14,483	14,787	15,614	15,001	15,788	16,354	16,104	16,771	12,753	13,087	14,849
		復路	14,859	14,313	15,575	16,068	17,137	15,963	17,074	17,469	16,863	18,053	13,655	14,777	16,390
	座席数	計	44,843	42,898	46,520	48,301	48,535	47,470	51,674	52,980	52,500	53,400	48,900	50,350	52,750
		往路	21,583	20,552	22,363	23,142	23,273	22,838	24,719	25,490	25,200	25,250	23,400	24,050	25,150
		復路	23,260	22,346	24,157	25,159	25,262	24,632	26,955	27,490	27,300	28,150	25,500	26,300	27,600
	座席 利用率	計	64.0	64.6	64.6	63.9	67.5	65.2	63.6	63.8	62.8	65.2	54.0	55.3	59.2
		往路	64.1	65.3	64.8	63.9	67.1	65.7	63.9	64.2	63.9	66.4	54.5	54.4	59.0
		復路	63.9	64.1	64.5	63.9	67.8	64.8	63.3	63.5	61.8	64.1	53.5	56.2	59.4
南大東島 - 北大東島 線	運行回数	計	356	333	350	357	353	358	366	361	354	352	349	352	353
		往路	155	143	150	152	151	156	158	158	156	147	154	153	151
		復路	201	190	200	205	202	202	208	203	198	198	205	195	199
	旅客数	計	10,144	9,461	10,137	10,284	10,619	10,341	12,196	12,540	11,754	11,548	10,687	11,784	11,686
		往路	4,564	4,277	4,559	4,489	4,654	4,642	5,483	5,716	5,453	5,113	4,909	5,076	5,117
		復路	5,580	5,184	5,578	5,795	5,965	5,699	6,713	6,824	6,301	6,435	5,778	6,708	6,569
	座席数	計	13,845	12,987	13,650	13,923	13,767	13,962	16,782	18,050	17,700	17,600	17,450	17,600	17,650
		往路	6,045	5,577	5,850	5,928	5,889	6,084	7,273	8,000	7,750	7,350	7,700	7,650	7,550
		復路	7,800	7,410	7,800	7,995	7,878	7,878	9,509	10,050	9,950	10,250	9,750	9,950	10,100
	座席 利用率	計	73.3	72.8	74.3	73.9	77.1	74.1	72.7	69.5	66.4	65.6	61.2	67.0	66.2
		往路	75.5	76.7	77.9	75.7	79.0	76.3	75.4	71.5	70.4	69.6	63.8	66.4	67.8
		復路	71.5	70.0	71.5	72.5	75.7	72.3	70.6	67.9	63.3	62.8	59.3	67.4	65.0

資料：航空輸送統計調査
国内定期航空路線別、区間別、月別運航及び輸送実績
国土交通省

4. 島内の移動手段

■一般常用旅客自動車運送事業者数(タクシー・ハイヤー)

令和5年3月末現在

事業区分	法人		個人タクシー
	事業者数	車両数(台)	(1人1車制)
南大東島	1	2	0

(資料)沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和5年版)」

■レンタカー年度別事業者数及び車両数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
南大東島	7	7	7	7	8
	34				

※集計方法の変更(増車届出の廃止等)により令和元年度より島毎の車両数は掲載されない。

(資料)沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和5年版)」

5. 種別宿泊施設等

南大東村の宿泊施設の規模は、「ホテル・旅館」が2軒、「民宿」が2軒、「ペンション・貸別荘」が1軒となっており、合計で5軒の宿泊施設が立地しています。

収容人数は「ホテル・旅館」が122人と多く、宿泊施設全体の収容人数が168人であり、「ホテル・旅館」が収容人数の72.6%を占めています。

令和3年12月31日現在(単位:軒、室、人)

	ホテル・旅館					民宿					ペンション・貸別荘				
	軒数	客室数			収容人数	軒数	客室数			収容人数	軒数	客室数			収容人数
		和	洋	計			和	洋	計			和	洋	計	
南大東村	2	21	51	72	122	2	0	15	15	32	1	0	7	7	14

(資料)沖縄県「令和3年版観光要覧」

6. ツアー客の村内での支出について

離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和2年度実施報告書によると、ツアーで訪れた観光客の支出額は、平均値で合計13,683円、最大で37,900円、最小で7,300円となっています。

支出の内容は、お土産代や飲食費の支出額が大きくなっています。

ツアー客を対象としたデータであるため、交通費の支出が0円となっていますが、個人で訪れる観光客の場合は、レンタカー代等の支出も必要となります。

		平均値	最大支出額	最小支出額	サンプル数
合計		13,683	37,900	7,300	200
	飲食費	2,638	10,000	0	40
	施設入場料	1,200	2,400	800	40
	交通費	0	0	0	40
	お土産代	4,346	20,000	1,000	40
	自由時間の体験代	5,500	5,500	5,500	40

※表が空欄の場合は、データなし。
 ※未回答により、母集団との数字のズレが生じる場合がございます。

出典:離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和2年度実施報告書

第6章 南大東村観光の現状と課題

南大東村観光の現状と課題をアンケート調査やワークショップ、関連計画等から分析し、南大東村の特徴(強み)、問題点(弱み)を抽出して、解決すべき課題を下記のように取りまとめました。

1. 地域資源に関する現状と課題

①陸域の自然環境

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 星空がきれい。月がない夜空の星空の価値が素晴らしい。○ 星野洞が素晴らしい(日本一！アジアー！)。○ バリバリ岩な迫力ある地形。○ 今の自然環境を残してほしい。○ 沖縄本島とは異なる自然環境。○ 地底湖など地下の資源が魅力。○ 固有の動植物。○ 圧倒的な自然のスケール。○ 人の手の加え方が最小限の「手付かずの自然」が魅力。○ 一度も大陸とつながった事がない。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○希少生物の保護活動、環境保護が必要。○自然環境の保護に関するルールが明確でない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 自然環境を守りつつ、観光振興に資するに<u>エコツーリズムを推進</u>する必要があります。○ 競争力のある星野洞、地底湖、断崖絶壁など<u>ここにしかない絶景の情報発信</u>が必要です。○ ルールの周知やガイド機能の強化のための <u>IT技術の活用</u>が必要です。
---------	---

②海域の自然環境

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コバルトブルーの海がきれい。迫力がある。 ○ 海軍棒プール、塩屋プールと海に面したプールがある。 ○ ダイビングはまだ開拓途中だが、長期滞在にもつながるコンテンツとなりえる。 ○ 陸から大物が狙える釣りのポイントとして知名度がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄の海のイメージとは異なり泳げない。 ○ 海軍棒プール塩屋プールでは、海水浴などある程度手軽にできるような周辺環境の整備(トイレ・シャワー)が必要



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ダイビングや釣りなど海を活用した観光コンテンツ・サービスを強化する必要があります。 ○ 設置場所や維持管理手法を検討した上で、<u>トイレ・シャワー</u>等を設置する必要があります。
---------	---

③農業

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ サトウキビ農業の先進地 ○ サトウキビ畑の景観。 ○ 大型機械による大規模な農業。 ○ かぼちゃ。 ○ サトウキビ産業の歴史的価値。 ○ 青パパイヤ。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路への赤土の流出など景観面での課題。 ○ 農作業の妨げとなる観光客の行動。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ サトウキビ農業の先進地としての視察ツアーの受け入れ態勢をつくる必要があります。 ○ <u>観光業と連携した農業振興</u>を図る必要があります。 ○ <u>観光客の方へのルール・マナーの啓発</u>を行う必要があります。 ○ <u>農業をコンテンツとした観光メニューの開発と受け入れ態勢づくり</u>を行う必要があります。
---------	--

④漁業

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魚が美味しい。 ○ 大東寿し、ナワキリ、ふぎ炒めなど、珍しくておいしいものも多い。 ○ マグロやサワラなどの漁業資源が豊富で人気がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海が荒れると、村内の飲食店でも島の魚が食べれない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>観光業と連携した漁業振興</u>を図る必要があります。 ○ <u>周年利用できる漁港及び亀池の船だまり等の環境整備</u>を行う必要があります。
---------	--

⑤生活・文化・歴史

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八丈島から伝わった歴史・文化・言葉。 ○ 大東太鼓、相撲、祭りなどの文化 ○ 沖縄八丈島の文化が混ざり合っていること。 ○ 開拓・製糖の歴史。 ○ 必要最小限のものがそろっているが、余分なものは何もなく手つかずの自然を楽しめる。 ○ 集落には昔っぽさが残っている。 ○ 無人島の開拓の歴史。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シュガートレインが錆びだらけで保存がなされていない。 ○ シュガートレインの復活に向けた動きが止まっている。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>南大東島固有の生活文化や日常風景の価値を再認識</u>する必要があります。 ○ <u>シュガートレインの実現可能な活用方法を再検討</u>する必要があります。
---------	---

2. 受入環境に関する現状と課題

①宿泊施設

特徴(強み)	—
問題点(弱み)	○宿泊施設が古い。 ○クレジットカードが使用できない。 ○宿泊施設で自炊ができない。



解決すべき課題	○ <u>宿泊施設の整備・改修</u> が必要です。
---------	----------------------------

②飲食・買い物

特徴(強み)	○ 大東寿し、ナワキリ、ふぎ炒めなど、珍しくておいしいものも多い。 ○ 意外に自販機が多くて不便しない。ショップが多くて楽しい。
問題点(弱み)	○ 食事をする場所が少ない。 ○ 営業時間の変更や休業など、営業しているかどうか行ってみないと分からない。 ○ 飲食店に関する情報がない。 ○ 休日に食事ができる場所が少ない。 ○ カフェなど一休みできる場所がない。 ○ スーパーの休業情報などなくて困る。



解決すべき課題	○ <u>飲食店・商店の利便性を向上</u> させる必要があります。 ○ <u>観光客が一休みできる場所や、テレワークができる場所</u> (カフェ、休憩場、ワーキングスペースなど)の整備を行う必要があります。
---------	--

③移動手段・交通環境

特徴(強み)	○ 空港・滑走路・機材が小さい。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通が無く、移動手段に限られる。 ○ レンタカー以外の移動手段が必要。 ○ 坂道が多いので、車か電動自転車が必要。 ○ 飛行機の便数・座席数が少なく、かつ運賃も高額なので気軽に行きにくい。 ○ フェリーの欠航が多い。 ○ 北大東島にも合わせていきたいが、移動手段が少なく実現しにくい。 ○ 高低差があるので、平面の地図だと徒歩や自転車で厳しい。 ○ 南北大東を結ぶ空路がなくなる。 ○ 亀池港の船溜まりの整備が必要。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ レンタカー以外の<u>島内交通の仕組みを検討</u>する必要があります。 ○ <u>法制度等を利用した旅客運送の検討</u>を行う必要があります。 ○ 漁船・遊漁船等による<u>南北大東間の安定した渡船の構築</u>を検討する必要があります。
---------	---

④環境・観光インフラ

特徴(強み)	○ ゴルフ場があること。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話・Wi-Fi など電波が入らないところが多い。 ○ 道路への土の流出 ○ 公共のトイレが少ない。 ○ 観光施設等への案内板が少ない、わかりづらい。 ○ 観光施設が少ない。 ○ 日の丸展望台の劣化、通路の利用しにくい状況があります。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置場所や維持管理手法を検討した上で、<u>トイレ・シャワー等を設置</u>する必要があります。 ○ <u>既存観光関連施設を活用・再整備</u>する必要があります。 ○ 全島を一望できる<u>日の丸展望台のバリアフリー化</u>が望まれています。
---------	--

3. 商品・サービスに関する現状と課題

①観光コンテンツ

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ エコツーリズムを推進するための取組みが始まっている。 ○ ケービングツアーが魅力。 ○ 星空の魅力。 ○ ダイビングをする方にはとても魅力的。 ○ 何も無い島ではなく、歴史、文化、多様な発見のある素晴らしい島。 ○ 釣りの体験プログラムは反響が大きい。 ○ クルーズ船の受入れを行っていた。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二泊以上だと時間を持て余す。 ○ ビジターセンターの閉館。 ○ 大東犬に会いたかった。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>体験を楽しめる企画</u>が必要です。 ○ <u>徒歩・自転車等での周遊コースの設定</u>が必要です。 ○ <u>遊漁船によるダイビングや釣りへの取組みの強化</u>が必要です。 ○ 漁船・遊漁船の稼働を確保するための<u>港の機能強化</u>が必要です。 ○ <u>亀池港の船溜まりの整備</u>が必要。
---------	---

②特産品・土産品

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ラム酒(COR COR)がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供向けのお土産が欲しい。 ○ 南大東島らしいお土産が欲しい ○ お土産が少ない。お土産屋さんが少ない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産者が特産品開発やお土産品の開発を行うための不安を解消する仕組みづくり。
---------	---

4. 人材育成に関する現状と課題

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 島の人々人柄がよい。優しい。あたたかい。○ 島の人々の新設でアットホームな接客が良い。○ ガイドさんが親切でわかりやすい。島の暮らしや歴史なども伝えてくれる。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光振興に対する島民意識が低い。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 島まるごとミュージアムとの連携した観光人材教育を継続する必要があります。○ 挨拶など基本的なおもてなしの雰囲気づくりが必要です。
---------	---

5. 情報発信に関する現状と課題

①島外への情報発信

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「島あっちい」「GOTO 南大東」などにより南大東島を体験した方が増えた。 ○ 「おじゃりやれ！南北大東フェア」「離島フェア」などに参加し PR を行っている。 ○ 台風情報などで南大東島の存在は知られている。 ○ 友人や知人・家族の口コミが島を訪れるきっかけとなった方が多い。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島外で得られる島の情報が限られている。 ○ インターネット上にも島の情報が少ない。 ○ 効果を見据えたトップセールスの実施。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光の目的地として認知されるよう、<u>継続的な情報発信</u>を行う必要があります。 ○ 村のホームページを更新し、<u>情報発信の強化</u>を行う必要があります。 ○ SNS 等を活用した<u>タイムリーな情報発信</u>を行う必要があります。
---------	---

②島内への情報発信

特徴(強み)	—
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光パンフレットやガイドマップの情報が古い。情報が間違っていることがある。 ○ 悪天候時の海岸の閉鎖情報などが分からない。 ○ 飲食店や商店の営業情報など、島内にいても店の前まで行かないと分からない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>定期的な情報の更新</u>を行っていく必要があります。 ○ 空港や在所など観光客が立ち寄る場所での<u>タイムリーな情報提供</u>を行う必要があります。 ○ <u>観光アプリの導入</u>、ICTの活用による<u>情報発信</u>が必要です。 ○ インバウンドに対応するために<u>多言語(5 か国語)案内板</u>等が必要です。
---------	--

6. 観光振興の推進体制に関する現状と課題

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光協会による観光事業が進められている。○ 商工会によるブランディング事業の実施。○ ガイドさんが親切丁寧でわかりやすい。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光の振興について、島内でも温度差がある。○ 観光に来てほしいという心意気を感じられない。○ 推進体制としてまとまりがない。○ 島まるごとミュージアム構想との連携や、継続した取り組みがない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 「(仮称)島の観光を考える会」のような<u>住民が話し合える場を継続的に開催し、観光振興の機運を高めていく必要があります。</u>○ 地域おこし協力隊などの活用による、<u>観光振興に意欲のある人材の登用が必要です。</u>
---------	---

第7章 南大東村観光振興のビジョン

1. 南大東村観光振興の10年間の目標

心が動く 島が動く 人と自然のふれあい天国 うふあがり島
～観光フロンティア みんなで創る希望の島～

南大東島は、1900年(明治33年)に開拓が始まり砂糖の島として礎を築いてきました。沖縄県内でいち早く大型機械の導入による効率化を図り、現在でも島の基幹産業として大切な役割を担っています。しかし、高齢化の進展や人口減少、担い手不足など農業や地域経済を取り巻く環境は厳しくなっていくものと思われます。

そのようななか、南大東村においても持続的な発展を図るためには観光振興による地域活性化を目指すことが効果的であり、雇用の創出や所得の向上などの経済効果を生むだけではなく、村民と国内外観光客との交流による教育的効果や関係人口の増加が期待出来ます。

絶海の孤島である南大東村にしかない自然環境や、島を作ってきたサトウキビを中心とする農業、特異な地形、その中で生まれ育まれてきた島の生活と歴史文化を活かし、村民と観光客との交流の活性化による新たな賑わいを創出し、南大東村でしかできない観光振興を目指します。

■基本方針

南大東村にしかない資源を未来に残しつつ、島全体で観光振興に挑戦します

■コンセプト

何もない？
「絶海の孤島」
「コバルトブルーの海」
「満天の星空」
「見渡す限りのサトウキビ」
「大迫力の地形」
「固有の動植物」
「島の生活と歴史文化」
ここにしかないんです。

■基本戦略

基本戦略 1:ありのままの魅力を活かした観光振興を行います

基本戦略 2:快適に過ごせる観光地にするために、生活環境・受入環境を整えます

基本戦略 3:選ばれる島となる情報発信を行います

基本戦略 4:訪れた方と共に幸せになるために、島を愛する心を育みます

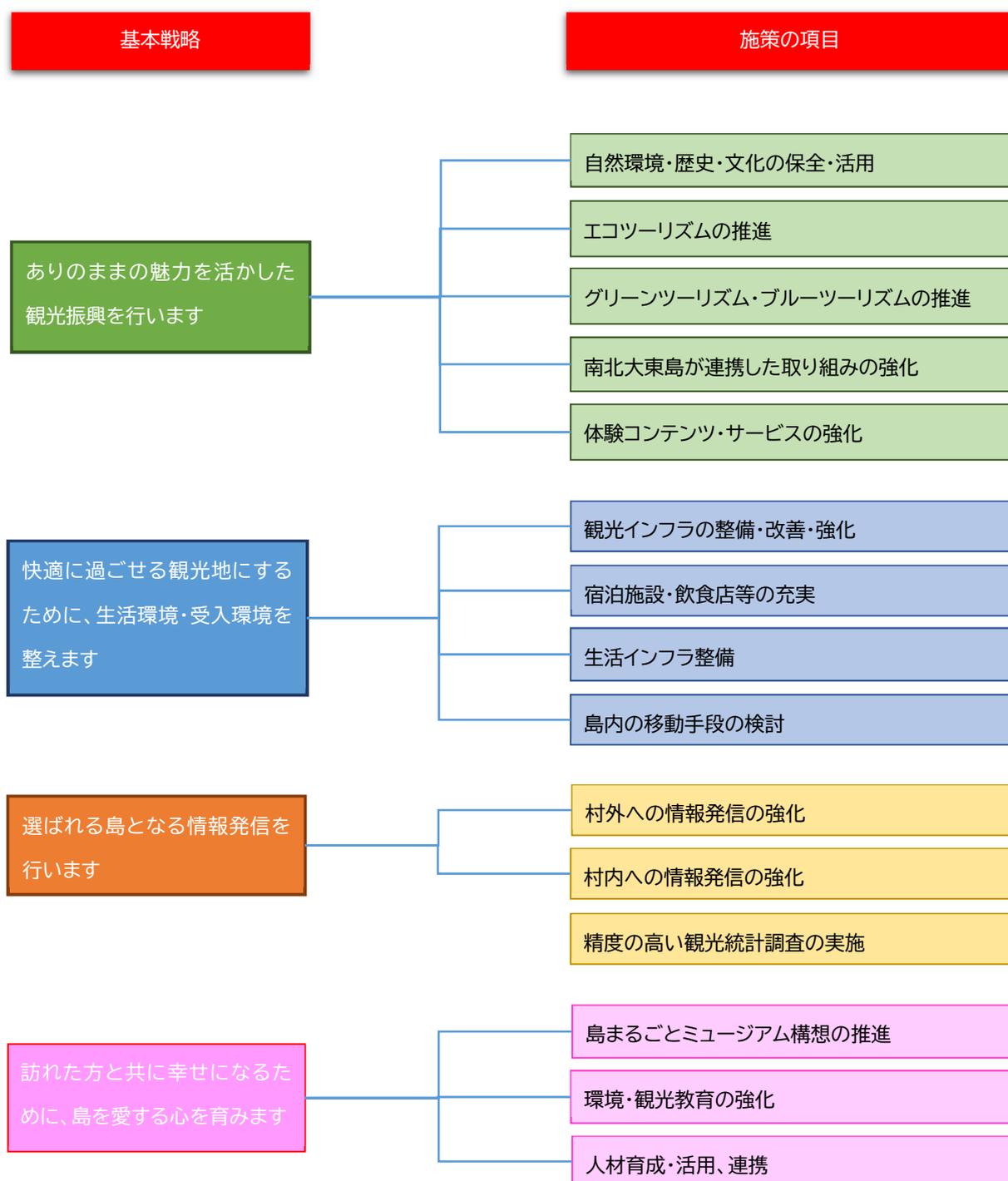
■数値目標

項目	現状値	目標値	把握手法
住民の幸福度	—	90%	・住民アンケートにより把握
来訪者満足度	85% (R6)	90%	・来訪者アンケートにより把握 ・現状値は、R6年調査、「大変満足した 51.0%」「満足した 34.0%」の合計を採用
島内での観光消費額	13,683 円 (R2)	20,000 円	・来訪者アンケートにより把握 ・現状値は、離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和2年度実施報告書より
観光客数	4,055 人 (R3)	10,000 人	・村内統計資料により把握

2. 施策の展開

南大東村観光振興の10年間の目標を達成するために取組んでいくことについて、4つの基本戦略、15の施策の項目として体系的に示します。

■施策展開の体系図



3. 具体的な取組

今後 10 年間で実施する具体的な取組を示します。

4 つの施策項目ごとに、今後 10 年で実施する具体的な取り組みを定めました。また、具体的な取り組みの実施を担う担当課や団体等の実施主体も記載しています。

実施時期については、短期(3 年以内)、中期(4 年～6 年以内)、長期(7 年～10 年以内)の実施時期を定め、段階的に進めてまいります。

■表の見方

観光振興の 10 年間の目標を達成するために取組んでいく 4 つの施策です。

具体的な取り組みを進める主な主体を記載しています。

施策項目	具体的な取組	実施主体	時期
自然環境の 保全・活用	地域資源として、希少生物の保護・環境保全を行います	産業課	短 中 長
	地底湖利用におけるルール作りと適正利用を図ります	産業課・観光協会・事業者	短 中 長
	特徴的な地形を活用した観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者	短 中 長

4 つの施策を進めるために必要な取り組みを定めています。

短期(3 年以内)、中期(4 年～6 年以内)、長期(7 年～10 年以内)として、実施時期を示しています。

戦略1 ありのままの魅力を活かした観光振興を行います

南大東島はリーディング産業として観光振興を目指します。振興の方向としては、島にしかない「絶海の孤島」「コバルトブルーの深い海」「満天の星空」「見渡す限りのサトウキビ」「大迫力の地形」「固有の動植物」「島の生活と歴史文化」といった、島に来て初めて味わえる(オンサイト)ありのままの観光資源を強みとし、それらを守り育てつつ、南大東島の在り方に共感を持っていただける方々をターゲットとした観光振興を行います。

施策項目	具体的な取組	実施主体	時期
自然環境の 保全・活用	地域資源として、希少生物の保護・環境保全を行います	産業課・教育委員会	短 中 長
	地底湖利用におけるルール作りと適正利用を図ります	産業課・観光協会・事業者	短 中 長
	特徴的な地形を活用した観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者	短 中 長
歴史・文化 を活かした 観光の推進	南大東島を代表する産業遺産であるシュガートレインの活用方法を再検討します	産業課・土木課・観光協会	短 中 長
	南大東島の文化特性について HP や SNS 等を活用し、観光資源として情報発信を行います	産業課・観光協会	短 中 長
	石造りの建物の保存と観光資源としての活用を図ります	産業課・土木課・教育委員会	短 中 長
エコツーリズムの推進	「島まるごとミュージアム構想」と連携したエコツーリズムを推進します	産業課・観光協会・事業者・教育委員会	短 中 長
	南大東村エコツーリズム推進協議会を設立し、エコツーリズム推進構想の認定を目指します	産業課・観光協会	短 中 長
	エコツアー等の企画・実践における自然環境の保護・管理に関するルールの周知を行います	産業課・観光協会・事業者	短 中 長
グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進	農業・漁業をコンテンツとした観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者・農家・漁家	短 中 長
	農家・漁家による民泊事業の取組を促進します	産業課・観光協会・事業者・農家・漁家	短 中 長
	観光客へのルール・マナーの啓発を行います	産業課・観光協会・事業者	短 中 長
南北大東島が連携した 取り組みの 強化	県内外のイベント等について、南北大東島地域連携を継続的に推進します	産業課・観光協会	短 中 長
	漁船・遊漁船による南北大東間の渡船事業の検討を行います	産業課・漁家・事業者	短 中 長
	南北大東島が連携した定期航路の検討を行います	産業課・港湾業務課	短 中 長
体験コンテンツ・サービスの強化	観光協会と連携した観光メニューの開発への支援を行います	産業課・観光協会	短 中 長
	継続的な観光ガイドの養成を促進します	産業課・観光協会	短 中 長
	民間事業所と連携したツアー企画の創出を行います	産業課・観光協会	短 中 長

戦略2 快適に過ごせる観光地にするために、生活環境・受入環境を整えます

南大東島の住民の生活を豊かにし、観光客には南大東島での滞在時間をもう少し快適な時間にするためには、ある程度の生活環境・受入環境の向上に向けた整備が必要です。

ありのままの南大東村の観光を下支えし、島に滞在する観光客が今より少しだけ快適に過ごすことができるようになることで満足度を高めます。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
観光インフラの整備・改善・強化	海軍棒プール・塩屋プール周辺へのトイレやシャワー施設の設置について、維持管理方法の検討も含めて推進します	産業課	短	中	長
	通年で利用できる港湾環境の整備を行います	産業課・土木課・港湾業務課	短	中	長
	立地がわかりにくい観光資源等への案内板の設置やITを活用した案内方法を検討します	産業課・土木課	短	中	長
	南大東観光の安心安全を確保するため、遊泳禁止区域等の明示を行います	産業課・港湾業務課	短	中	長
	日の丸展望台のバリアフリー化を実施します	土木課・産業課	短	中	長
宿泊施設・飲食店等の充実	村商工会と連携した事業者支援を実施します	産業課・村商工会	短	中	長
	宿泊施設・飲食店等が連携した営業店舗の確保等観光客の利便性の向上	産業課・事業者	短	中	長
	島内食材を使った加工商品の開発及び生産体制の構築を支援します	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	島内産品の島内店舗での流通、提供先の拡大を支援します	産業課・村商工会・観光協会・事業者	短	中	長
	「TERIHAオイル」等新たな特産品開発を促進します	産業課・事業者	短	中	長
	観光アプリの導入や、ICTの活用により、観光客の利便性を高めます	産業課・村商工会・観光協会・事業者	短	中	長
生活インフラ整備	歩行空間の安全性の確保や景観へ配慮した管理運営を行います	土木課	短	中	長
	既存施設を活用したワーケーション施設を整備します	産業課・教育委員会	短	中	長
	村内のWi-Fi環境を整備し、通信環境の向上を図ります	産業課	短	中	長
	亀池港の船溜まりを整備し、漁船・遊漁船の利用環境を向上します	土木課・産業課・港湾業務課	短	中	長
島内の移動手段の検討	レンタサイクル事業の強化	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	エコツーリズムやグリーンツーリズム等の法制度を活用した旅客自動車運送の検討	産業課・観光協会・事業者	短	中	長

戦略3 選ばれる島となる情報発信を行います

選ばれる島であり続けるための効果的な情報発信を行います。

ただし、住民の生活や、今いらしているコアな観光客の方のニーズからも、大々的に島の観光の形を変えてまで宣伝することは誰も望んでいないと考えます。

現状では、島外から島の情報を得られる手段や内容は限られているため、ありのままの南大東島に共感できる方をターゲットにし情報発信を行います。

また、島内においてもリアルタイムな情報把握が難しい状況です。すでにいらしている観光客に対してのリアルタイムな情報発信に努めます。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
村外への情報発信の強化	来島して体感しないと得られない南大東島の感動や学びについて、VR 等映像技術を活用して魅力の発信を行います	産業課・観光協会	短	中	長
	村ホームページのリニューアル及び継続的な情報更新を行います	産業課	短	中	長
	SNS 等を利用した情報発信の強化を行います	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	効果を見据えたトップセールスを実施します	産業課・村	短	中	長
	離島フェア等のイベントへの継続的な参加と情報発信を行います	産業課・観光協会・村商工会	短	中	長
村内への情報発信の強化	飲食店や商店の営業情報の集約・発信を、島内主要施設や観光客の集まる場所で提供します	産業課・観光協会・村商工会・観光協会	短	中	長
	ガイドブック・ガイドマップ等の定期的な更新を行います	産業課・観光協会	短	中	長
精度の高い観光統計調査の実施	計画の進捗状況を把握するため、ICT を活用した継続的なアンケートを実施します	産業課	短	中	長

戦略4 訪れた方と共に幸せになるために、島を愛する心を育みます

南大東村の観光振興の究極の目的は、島に暮らす住民の幸福度が高まることです。

南大東村では、「島まるごとミュージアム構想」が本村の基軸として確立しています。島の住民として我が島の自然文化・歴史等の特徴を見つめ島の「宝」を認識しつつ、みんなが観光客にも分けてあげられるような観光振興の雰囲気づくりを行います。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
島まるごとミュージアム構想の推進	本村の基軸である島まるごとミュージアム構想と連携した観光客受入環境づくりを進めます	産業課・教育委員会	短	中	長
環境・観光教育の強化	島全体でのおもてなしの雰囲気づくり	産業課・教育委員会・事業者・住民	短	中	長
人材育成・活用、連携	観光振興について住民が継続的に話し合える場を創出します	産業課・事業者・住民	短	中	長
	観光振興による仕事の創出	産業課・事業者	短	中	長
	関係人口等の島外の人材との連携・活用	産業課・観光協会	短	中	長
	地域おこし協力隊を活用した観光関連プロジェクトの推進	産業課・観光協会	短	中	長

おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024

南大東村観光振興計画

.....
令和6年(2024年)8月

発行:南大東村役場 産業課

〒901-3895

沖縄県島尻郡南大東村字南 144 番地-1

TEL(代表):09802-2-2001 / FAX:09802-2-2669
